

こうみょう

第9号

この如来にょらいは光明こうみょうなり。光明こうみょうは智慧ちえなり。

智慧ちえはひかりのかたちなり。

親鸞しんらん聖人しょうにん著作しよさく『一念多念文意いちねんたねんもんい』

今年も暑い夏がやってきました。「今年は猛暑です」という言葉が毎年聞いているような気がしませんか？

僕が子どものころは、「暑いなあ」と感じてても、せいぜい30度ちよっと超すくらいでした。それが今や、35度を超すという、異常な暑さになってきていますよね。

せっかくの夏休みなのに、熱中症に注意するあまり、外で遊べないという、子どもにとっては理不尽な状況になってしまっています。夏にしかできないことがたくさんあるし、夏にしか見られないものや景色もたくさんあるのに・・・。

下の写真は、京都の本山・東本願寺南側のお堀に、夏になると毎年咲く蓮華です。僕が3年間勤務していた「同朋会館」という宿泊奉仕施設の入り口に咲いています。きれいなピンクが特徴で、東本願寺のキャラクターである「蓮(れん)ちゃん」(写真左にある絵)のモチーフとなった華です。

京都は、盆地ですので、とても蒸し暑いのですが、旅行の計画がある方は、ぜひ、東本願寺へお立ち寄りください。

(蓮の華は、おそらく7月しか見られないと思います・・・)



第9号

2018年7月1日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

メールアドレス：

koumyouji@sky.plala.or.jp

そっだ お寺 行こう

お寺でのさまざまな「つどい」をご紹介します

体幹うぐうぐエガ(KOBA☆) 報告



6月より、お寺の本堂を利用いたしまして、「体幹うぐうぐエガ」を始めました。

「KOBA式☆体幹トレーニング」で有名な、コバリゾートの女性スタッフを先生に、みなさん楽しそうに体を動かしていました。無理をすることなく、自然と体の内側を鍛えることができるメニューになっていて、うで、坊守も参加していましたが、翌日には心地よい筋肉痛がやってきたそうです(〃)。

参加された方に感想をいただきました。

• なんだか、体も心もすっきりする感じです。

• 色々な所が伸びて気持ち良かった。雰囲気も良かったし、来月も楽しみにしています。

• 体がほぐれ、リフレッシュできました。

• ご本尊様に見守られている感じで、不思議と落ち着く感覚、すごく楽しかったです！

ご門徒さんをはじめ、コバリゾートの会員の方、坊守の友人、そして、チラシを見てお申込みいただいた方など、はじめてお寺に入る方も多く、お寺を知っていただく良いご縁になり、嬉しいです！

今度は僕も参加してみたいと思います。

光明寺同朋の会 報告

5月より、「光明寺同朋の会」という、お寺での法話会が始まりました。毎月1回、月の後半の土曜日に開催してまいります。

テキストは、私たちが日ごろから親しみのある「正信偈」です。お盆やお彼岸、ご法事でも、みなさんで一緒にお勤めする「正信偈」。なぜ、お坊さんだけではなく、みなさんで一緒にお勤めをするのでしょうか？ それは、親鸞聖人が一人ひとりに受け取ってもらいたいと願って書かれたものだからです。では、その受け取ってもらいたいこととはどのような教えなのでしょう？



浄土真宗の要となる本願念仏の教えを、ともに学び合いたいと思っています。

皆さまのご参加をお待ちしております。

仏事について……ごことが知りたい!

はじめての葬儀

お葬式の施主になることに慣れていない人は、ほとんどいらっしやらないでしょう。多くの人は、はじめて施主・喪主になるのではないのでしょうか。はじめてではなくとも、前のことは、バタバタしていてあまりよく覚えていない…、ということをよくお聞きします。

まずはお寺にご相談ください。

お身内を亡くされたとき、最初に連絡するところは、お寺です。できれば、少しでも早くご連絡いただくと、準備も整いますし、ご家族の事情により、いくつかのパターンのご相談もできます。

最初にお寺にご連絡をする最大のメリットは、費用を抑えることができることです。

今は、病院で亡くなることが多くなっています。病院で亡くなりますと、病院は、ご遺体を安置する所ではありませんので、早く引き取りに来てもらうよう、馴染みのある葬儀社を紹介してきます。

でもその場合は、病院に、「お付き合っているお寺がありますので、お寺に相談します」とお伝えください。病院が紹介する葬儀社さんとお寺が直接お話しさせていただくこともできますし、お寺とお付き合いのある葬儀社さんに病院に向かってもらうことも可能です。

最初にお寺にご連絡をいただくことで、お寺が主導することができ、通夜葬儀を含めたその後の手配、つまり費用に関わることも、お寺が間に入ることができます。

お寺が主導するということは、費用の面だけではなく、儀式を丁寧にお勤めすることももちろん、通夜葬儀を勤める意味ということも、十分にお伝えし、大切な方との別れの時間をゆっくりと過ごすことができます。

儀式作法には、それぞれ意味があります。その意味とは、遺された私たちにとっての意味ということです。「死」という悲しい事実を目の前にして、不安と悲しみを受け止めるためには、私たちに意味と「ものがたり」が必要なのです。それが、仏の教えです。

それは、お寺にしかできないことなのだ、僕は強く信じています。

「エンディング産業展」について

この夏、第4回となる「エンディング産業展」が開催されます。年間死亡者数がピークを迎える2040年頃を見据え、「人の死」に経済的価値を求める、現代の葬儀や埋葬に関する展示会ですが、一方では、人が生きて往くうえでとても大切なことも表現されます。

今回は、真宗大谷派も出展して、浄土真宗の葬儀と終活についてお伝えしてまいります。
興味のある方はお寺へお尋ねください。

期日… 2018年8月22日(水)～24日(金)
会場… 東京ビックサイト(江東区有明)

フューネラルビジネス・エンディング・終活・葬儀・埋葬・仏壇・供養・終末関連のための専門展示会

ENDEX 第4回エンディング産業展
Life Ending Industry EXPO 2018

会期 2018年8月22日(水)・23日(木)・24日(金/友引)
10:00-17:00

会場 東京ビックサイト東7ホール

ホーム ENDEXとは 出展のご案内 参加企業案内

エンディング産業展は日本最大の葬祭関係企業が集まる専門展です

会場のご案内 セミナーイベント 出展社一覧/会場MAP

※住職は、本山のスタッフとして、3日間出展ブースにおりますので、よかったですらお越しください。おもしろいですよ。希望者には招待券をお送りいたします!

お盆とお彼岸のお参りについて

お盆やお彼岸に、「ご自宅のお内仏（お仏壇）」で、「一緒に」「正信偈」のお勤めをいたしましたよ。亡くなったお身内を「ご縁」として、今を生きる私が、「ご本尊（本当に尊いこと）」に手を合わせることは、とても大切なことです。お内仏（お仏壇）を整え、静かに手を合わせるひと時を持つことは、自身の生活を整えることにつながります。

- ・お仏壇を見直すことは、生活を見直すこと
- ・いつから始めても結構です
- ・お仏壇が整っているか不安でも結構です

「ご自宅のお内仏（お仏壇）」を、私にとってかけがえのないものに変えていきましょう。お寺にご相談ください。



ホームページをリニューアルしました!!

このたび、光明寺のホームページをリニューアルいたしました。ぜひ一度、ご覧いただきたいと思えます。

変わったポイントは・・・

- ① トップ画面に、注目してほしい取り組みを画像で表現しています。それも、次々と画像が移っていくような形になっています。
- ② 春から、お寺での3つの会（写教・同朋の会・体幹らくらくヨガ）を始めましたので、「お寺につどう」ページを追加し、いつでもご案内ができるようになりました。
- ③ 葬儀に関するページを追加しました。
- ④ 法名をいただくことにより、真宗門徒の生活を始めていただくため、帰敬式（おのみそり）を勧めるページを追加しました。
- ⑤ カレンダー機能を追加し、お寺の行事や、様々なつどいの開催期日を確認できるようにしました。

- ⑥ 写真ギャラリーを作りましたので、行事やつどい、色々な写真を載せたいと思えます。
- ⑦ 「終活」について、目立つように表示しました。これからお寺で「終活」を始めたいと思っています。

最近、「ホームページを見ました」と言っ
て問い合わせくださる方が増えてきました。
ホームページが、仏事を勤めることに不安を
抱えていらっしやる方との「縁のきっかけ
になっていることを実感しています。